

令和4年度 第2回尼崎市食育推進懇話会 報告

- 1 日時 令和5年3月23日(火)午後2時～3時
- 2 場所 尼崎市保健所 集団指導室⑩及び Web 会議システム(Zoom) ※併用形式で開催
- 3 出席者
【委員】 《会場》由田会長、三浦副会長、福本委員
《Web》松谷委員、民谷委員、濱名委員
【事務局】《会場》健康増進担当部(巽部長)、健康増進課(古中課長、岡本係長、島野、福本、田村)
《Web》北部地域保健課(中川係長)、南部地域保健課(中課長)
- 4 欠席者
【委員】 遠茂谷委員、中川委員、今井委員、小田委員、小笹委員、里村委員、堀委員、長谷川委員
- 5 資料
・令和4年度第2回尼崎市食育推進懇話会次第
資料1)第2次尼崎市食育推進計画の進捗状況:評価指標
資料2)健康づくりアンケート調査結果の概要
資料3)(仮称)第4次地域いきいき健康プランあまがさきの構成(たたき台)/代表的な評価指標(案)
資料4)令和5年度 食育に関する主な取り組み
資料5)おいしく適塩レシピ

6 議事録

○開会あいさつ

○議題

協議事項…次期計画策定について、健康づくりアンケート調査結果概要(食育に関すること)
〈資料1・2に基づき、事務局より説明〉

発言者	発言内容
委員	健康づくりアンケート調査結果については、具体的な説明で園の状況とリンクする部分が多いと感じました。特に関心があったのは、「朝食摂取状況」で高校生の5人に1人が欠食しているという点でした。原因など把握されていたら教えてください。
事務局	細かい背景はわかりませんが、コロナ禍でありいつもの生活習慣とは少し異なっていることが考えられます。高校生については、兵庫県と比べても、尼崎市は少し高めにあるという状況です。今回の健康づくりアンケート調査では、朝食習慣について、ほとんどの方が「小学生からの現在の食習慣である」と回答していますが、高校生になってから欠食習慣があるという回答もあります。「食習慣の自立」に向け、中学・高校生になる時期や新学期など、繰り返し啓発していくことも重要だと感じております。
委員	本市における「虐待」に関する会議にも出席しており、尼崎市の特徴として「ネグレクトが多い」ということをお聞きし、関連等あるのかと感じました。

委員	アンケート結果を数値で見るとわかりやすいです。また、現状値だけでなく、経年的な変化を見ると違いもわかり、小学校では食生活に密接にかかわることが多いので、大変参考になりました。コロナ禍において、小学校の授業でも調理実習ができず、座学の授業が続いておりました。先日、本校 6 年生で「各家庭で調理する」取組を実施したところ、おうちで励ましてもらう、おうちの人に喜んでもらうなどの反応がありました。学校でも、数値を上げるための取組だけではなく、工夫しだいで健康づくりの成果があがる取組ができるのではないかと思います。
委員	日頃、田能で栽培した野菜を使った食育活動を実施していますが、参加される方は子どもも大人も食育に興味関心のある方が多いです。苦手な野菜も収穫体験をすることで、食べるきっかけになり、喜んでおられます。尼崎の農地は減っていますが、都会にある農地を単なる農産物を作るだけでなく、食育と絡めて活用できればと感じました。
委員	JA などと協力し、「あまやさい」のロゴ入り袋を作成し、あまやさいの販売していますが、まだ市内全域のスーパーには出回っておらず、尼崎の野菜が広まっていないなと感じました。農業祭などのイベント以外でも、もっと地産地消をPRする必要性を感じました。
会長	朝食の摂取については、夜更かしなどコロナ禍で全体的に生活の乱れが原因の1つであると思います。

協議事項…次期計画イメージについて

〈資料3に基づき、事務局より説明〉

発言者	発言内容
副会長	さきほどのアンケート結果にも通じますが、「朝食を食べない具体的な理由」は理解しておりますか。
事務局	今回のアンケート調査では、「理由」まで設問しておりません。朝食習慣は小学生から続いているのがほとんどです。これまで毎年実施してきた「幼児(5 歳児)を対象とした、食育に関する調査」では、当たり前のことではありますが、「保護者の食育の関心度と子どもの朝食摂取状況」「共食と食事バランス」「保護者の朝食摂取状況と子どもの朝食摂取状況」「ごはん食と食事のバランス」には関係がありました。子ども1人では朝ごはんを作る、選んだりするのは難しいため、大人と一緒に食べる場所をスタートとして、まずは夕食を共食する、そして食事を楽しむことが次に繋がると考えています。一緒に食べ、楽しむことが大切だと今回のアンケート調査で感じました。
会長	中間評価が 6 年後ということですので、中学・高校生では対象となる人が入れ替わります。毎年、モニタリングしながら評価できる方法を検討いただきたいです。

協議事項…令和 5 年度スケジュールについて

〈資料4に基づき、事務局より説明〉

発言者	発言内容
委員	「高血圧ゼロのまち」推進事業の取組は、高齢になれば血圧が高くなることから、減塩の取組を進めていこうというような内容でしょうか。

事務局	「高血圧ゼロのまち」とは、日本高血圧学会が全国的に啓発している取組で、次年度から尼崎市も参画します。コロナ禍の影響もあり、約 5 割の人が高血圧に有所見があるという状況です。減塩だけでなく、正しい知識の啓発も大切だと思います。〈野菜をしっかりとる、だしの活用、食品のうま味を活かす〉ことは、新鮮な野菜を食べることで、余分な調味料を使わずにおいしく食べる、地産地消にも繋がると思います。野菜・果物の摂取もあわせて食育の観点で啓発できればと思います。
委員	2 点、質問です。1 点目は、子ども食堂の取組です。子ども食堂は、行政ができない部分を民間が取り組んでいます。行政による補助金や支援は非常にありがたいのですが、行政が関わることで規制が多くなり、民間が動けなくなるようなことがないように十分配慮していただきたいです。 2 点目は、中学校給食献立コンクールです。小学校教員時代に、給食委員会で献立について議論したことがあり、生徒が考えた献立を実施するに至るまで 1 年以上かかった経験があります。スケジュール的には大丈夫でしょうか。
事務局	子ども食堂については、行政支援の一つに、補助金など金銭面に対する支援があると思いますが、子ども食堂の運営維持や立ち上げの支援は別の課が事業として立ち上げています。それに加えて、食育の視点で野菜・果物をしっかり使ってほしいというのが今回の補助内容となっています。 尼崎市では、民間の「尼崎こども食堂ネットワーク」が活動支援をしています。現在の活動を維持し、日々の活動のプラスになる支援となるよう、食の大切さや食育の視点を共有しながら進めていければと考えています。 「中学校給食献立コンクール」については、年度内に献立実施につなげるようなスケジュール感で聞いております。年度内に、生徒の考えた献立が給食に登場できるよう再度、担当課にも伝えておきます。
会長	4 つの新しい取り組みを紹介いただきましたが、取組成果が見える化できるよう検討いただきたいと思います。

協議事項…その他(おいしく適塩レシピ/クックパッド)について

〈資料5に基づき、事務局より説明〉

発言者	発言内容
副会長	クックパッドで検索した時に、「あまがさきのレシピ」があがってくると身近なものに感じてとてもうれしく思います。
会長	全国的に「アマメシ」が広がると、イメージアップにもつながりますので、継続して実施してほしいと思います。

○閉会挨拶